

Program

挨拶

金澤 一郎 (日本学術会議)
中西 重忠 (大阪バイオサイエンス研究所)
文部科学省

基調講演

柳田 敏雄 (大阪大学)

生命動態システム科学へのアプローチ

セッション1: 計測による定量化への挑戦

升島 努 (広島大学: 分析化学)
神原 秀記 (日立製作所: 計測機器開発)
徳永 万喜洋 (東京工業大学: 1分子計測)
宮脇 敦史 (理化学研究所: 生体プローブ開発)

セッション2: 数理・情報・計算による挑戦

高木 利久 (情報・システム研究機構: バイオインフォマティクス)
金子 邦彦 (東京大学: 理論生物物理学)
泰地 真弘人 (理化学研究所: 計算生物学)
平尾 公彦 (理化学研究所: 計算科学)

意見交換会

挨拶 谷口 直之 (大阪大学)

セッション3: 分子細胞生物学からの展開

近藤 孝男 (名古屋大学: 分子生理学)
塩見 美喜子 (慶應義塾大学: RNA生物学)
松田 道行 (京都大学: 細胞生物学)
四方 哲也 (大阪大学: 合成生物学)
末松 誠 (慶應義塾大学: 代謝システム生物学)
西島 和三 (持田製薬/東北大学: 創薬研究開発)

パネル討論:

生命の動的理解に向けたアクションプラン

モデレータ 野地 博行、笹井 芳樹

パート1:

実験・計測と計算・理論の融合が目指すもの

パネリスト(予定) 上田 泰己、近藤 滋、澤井 哲、
杉田 有治、原田 慶恵

パート2:

「生命動態システム科学」推進のために

アクションプランの提言に向けた総合討論を行います。

閉会挨拶

郷 通子 (情報・システム研究機構)

$$D(\rho_\lambda \parallel \rho) = \int \rho(q) \log \frac{\rho_\lambda(q)}{\rho(q)} dq$$

Clock-1/Bmal1-3

bioluminescence %

公開シンポジウム

生命動態システム科学

生命の動的理解・予測・制御を目指して

2010年5月7日[金]~5月8日[土]

日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)

<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

主催: 日本学術会議

共催: 日本生物物理学会、日本分子生物学会、日本生化学会、日本物理学会、日本化学会、日本神経科学学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本発生生物学会、日本細胞生物学会、「細胞を創る」研究会、バイオスーパーコンピューティング研究会、理化学研究所、科学技術振興機構 研究開発戦略センター、情報・システム研究機構、大阪バイオサイエンス研究所、グローバルCOEプログラム生命科学(脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点/東北大学、システム生命科学の展開: 生命機能の設計/名古屋大学、高次生命機能システムのダイナミクス/大阪大学、In vivoヒト代謝システム生物学拠点/慶應義塾大学) 他(予定)

後援: 文部科学省

参加無料(事前登録制、定員: 300名)

申込方法(プログラム詳細等)

<http://www.phys1.med.osaka-u.ac.jp/bio-q.html>

問合せ: 「生命動態システム科学」シンポジウム事務局 bio-q_sympo_info@phys1.med.osaka-u.ac.jp

$$D(\rho_\lambda \parallel \rho) \approx \max_{|\lambda|=\delta} \frac{1}{2} \lambda^T \text{cov}(\beta V(q)) \lambda$$

100

80

60

40

20

0

time(h)

0

40

50

60

70